

ふじまつ

「明るく」あいさつができる
「仲よく」そうじができる、
「正しく」上級生が手本を示す

平成29年11月1日
北九州市立藤松小学校
校長 瀧上 正彦

寒暖の差に気をつけて！

藤松小学校は、飼育ケースをもって登校する子どもがたくさんいる学校です。10月末になって急に冷え込み、公園の生き物の姿を見かけなくなってきましたが、子どもたちの飼育箱の中の虫たちはまだまだ元気です。子どもたちが虫の気持ちになってお世話がよくできているのでしょうか。



子どもたちの方はというと、寒暖の差で風邪を引く子が増えてきました。11月になるとインフルエンザも流行を始めます。手洗いやうがい、汗をかいた後の着替え、湯冷めや寝ているときの布団など、まだまだ気を付けてあげないといけないことがたくさんありますが、子どもたちの体調管理もよろしくをお願いします。

11月10日(金)は、教育委員会の「アクティブ・ラーニング推進事業委託校」として、授業公開を行います。200人近い先生方が参観に来られる予定です。ソニー教育財団、日産財団、河川財団、国土交通省、校長会訪問、教育系大学生などたくさんの視察や参観が予定されています。子どもたちの素晴らしい姿を見て褒めてもらおうと思います。19日(日)は、音読発表会とPTAバザーがあります。はじめての2つの行事の組み合わせですが、たくさんの保護者の方に参加していただければと思います。

10月は行事がたくさんありました！

門司区陸上記録会6年4日(水)

大会前の毎日、厳しい練習を重ねた6年生が、鞆ヶ谷陸上競技場で大きな成果をあげました。応援の声が一番大きく届いていました。皆自己ベストでした。



女子400mリレー1位；黒木、仲田、土肥、八塚
ボール投げ1位；矢野 女子800m3位；三浦

環境アクティブラーニング4年6日(金)

あいにくの雨となりましたが、環境ミュージアムや山田緑地の見学を行い、環境を守る大切さ(3R)を学びました。

風船バレーボール大会たんぼ団13日(金)

毎日の練習の成果が表われ、2勝1惜敗で勝利しました。6年生をリーダーにしてとてもチームワークよく戦えました。



藤松フェスティバル15日(日)

雨の中、5・6年生の有志が大勢で迫力あるソーラン節を披露しました。大きな拍手をもらっていました。



連合音楽会4年18日(水)

毎朝、放課後の自主練習の成果が見事に発揮されました。当日の朝全校児童が集まり壮行会をしました。特に歌声はどの学校よりも迫力があり、きれいな歌声を門司市民会館に響かせました。感動的でした。



修学旅行6年19日(木)~20日(金)

素晴らしい天気の中、佐賀宇宙博物館、テーブルマナー教室、長崎平和学習(藤松小児童が心をこめて作った折鶴を奉納しました)、無窮洞、ハウステンボス見学を行いました。



自然教室5年26日(木)~27日(金)

もじ少年自然の家で、プールカヌー、磯遊び、肝試し、海賊の大冒険、海岸の清掃ボランティアを行いました。入所式や閉所式の子どもたちの挨拶や態度が素晴らしかったです。



シリーズ 子育て応援

校長の独り言

「やりとげた」という手ごたえを感じさせる

「モテる」子どもに育てる7つの引き出し 心理学者 富田たかしより

どんな親にも「自分の子どもがこんなことができるようになったらよいな」という夢があります。忘れ物をしないようになるとか、勉強ができるようになるとか、家の手伝いを進んでするとか、理想はたくさんあるものです。でも、実際にはそんな子どもを育てるのは簡単なことではありません。

どうやったら、子どもが勉強や家の手伝いをしてくれるようになるのでしょうか。その仕掛けになるのが、心理学という「スモールステップの法則」です。

よく忘れ物をする子どもがいるとします。いくら親が「忘れ物をしないようにしなさい」と言っても、あまり効果はありません。その子にとっては、一人に必要なものを全部思い出して、準備するのは大変なことなのです。

そこでまず、明日の準備をいっしょにしてみてもいいでしょうか。「明日持っていくものを今日のうちにに入れておこうね」「明日はどんな授業があるのかな」「算数では教科書とノートしか使わないの?」「音楽の時間はどんな勉強するの?」

そうやって細かくチェックしていくうちに、子どもはどんどん必要なものを思い出していきます。それができるようになったら、次は「明日はどんな授業があるのか、何がいるのか、自分で思い出してみようね」と、子どもに考えさせるようにします。

やがて、子どもは自分から「明日の体育はハチマキが必要なんだ」「給食当番だからマスク持って行かなきゃ」と考えるようになるのです。



最初から大きな目標を達成しようとしても、なかなかうまくいきません。そして、失敗ばかりしていくうちに「もうダメだ」「ぼくにはムリだ」と、やる気までなくなってしまうのです。勉強が苦手な子どもに分厚い問題集を与えても、きっと見ただけでウンザリしてしまうでしょう。

そうならないよう、大きな目標があるときは、小さなステップに分けましょう。問題集だったら、数ページごとにして、一つずつ手渡すのです。数ページの薄い問題集だったら、いくら分らない問題が多くても、がんばればそんな気がします。

それが解けたら、次の数ページを渡してみよう。きっと「前のときでもできたんだから、今度もきっとできる」と思ってがんばるのではないのでしょうか。一つ一つクリアすることで「自分はやればできるんだ」という喜びを感じ、次のステップに進もうというパワーになるのです。

紫川探検5年24日(火)

福岡県水資源の森からの支援を受け、紫川を上流から下流まで違いを比べながら見学してきました。教科書で学ぶだけでなく、実際に自然に触れて学ぶことにより多くの気づきがありました。

合同作品展見学たんぼほ30日(月)

ウエル戸畑に展示されている、特別支援学校、学級の子どもたちの合同作品展に観覧に公共交通機関を使って行ってきました。いのちのたび博物館の見学もしました。マナーを守って行動できました。

球技大会5年 11月15日(水)

毎朝早くから自主練習を行っています。体力アップと友達と協力して一つの目標に向かう楽しさを味わっています。西門司小学校と藤松小学校の体育館で試合を行います。

体育館工事終了11月から外壁工事